怜良

AIRA KAGOSHIMA

30周年記念誌

禁帯出

発刊にあたって

私たちの郷土姶良町は、鹿児島県のほぼ中央部に位置し、静かな錦江湾に雄大な桜島を望む、交通・生活環境に恵まれた水とみどりの豊かな田園都市であります。

昭和三十年一月、山田村・帖佐町・重富村が合併し、新しく「姶良町」が誕生してから今年で三十周年を迎えました。

この間、幾多の困難や変動を乗り越え、今では、人口三万五千六百人余り、人の数では県下第一位の町として着実な歩みを続けていますことは、誠に喜びに堪えません。

これもひとえに先人や町民各位の尊い御理解と御努力によるものであり、深く感謝いたしているところであります。

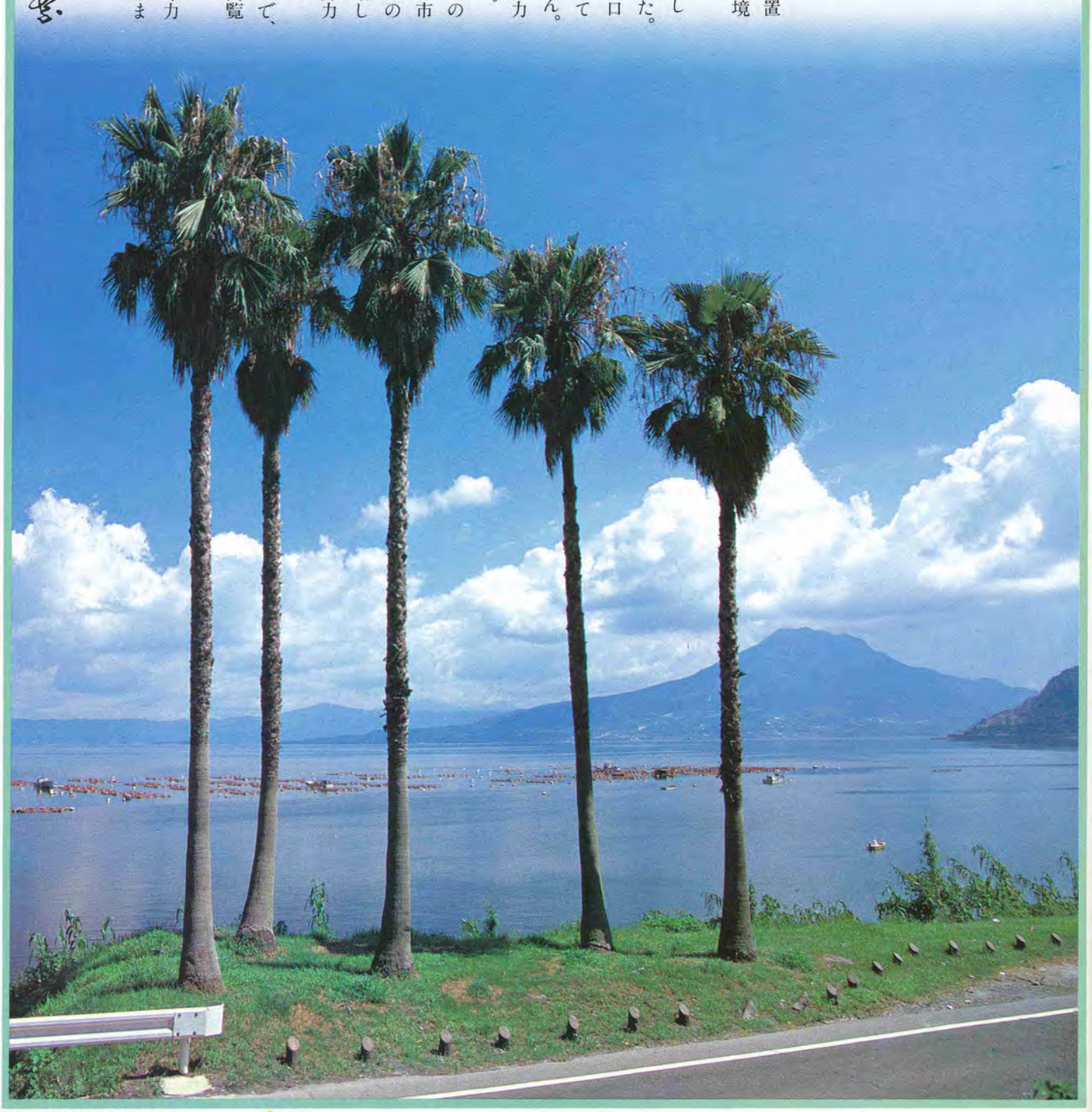
このようなときにあたり「国分・隼人テクノポリス」の関連地域として、又、鹿児島市を母都市とする結節都市としての恩恵にあずかりながら、二十一世紀に向けての未来都市を想像し、私はもとより全町民の総力を結集して「活力あるみどり豊かな文化の町づくり」をめざし努力いたしてまいりたいと思います。

ここに町制施行三十周年記念誌を発刊いたしますので、本町を理解していただくうえで、たくさんの人に御高覧いただき、お役に立てば幸いに存じます。

終わりに、この記念誌作成にあたり、御協力、御尽力いただきましたたくさんの皆様に、深く感謝申し上げまして発刊の御挨拶といたします。

昭和六十年十一月一日

姶良町長　西望



●10号線白浜より桜島を望む

目次

発刊にあたって……1
21世紀を担う子供達……4
明るい明日へ、飛翔する姶良町……5
町章／5　町木／5　町花／5　姶良町民憲章／5
帖佐人形のルーツ……6
現在のあいら……7
みどり豊かな活力ある文化のまちづくり……8
位置／8　地勢・地質／8　位置と面積／8　気候／9
明るく豊かで住みよい町づくり……10
行政／10　財政／13　議会／14
健康で、生きがいのある町づくり……16
児童福祉／16　社会福祉／18
清潔で、きれいな町づくり……20
住宅／20　上水道／22　ごみ処理／23　火葬場／23
交通／24　防災／24　公園／26
第35回全国植樹祭……28
豊かな潤いのある町づくり……30
農業／30　林業／33　水産業／34　商業／35　工業／36
テクノポリス／37

波静な錦江湾に
朝もやが立つころ
みどり深き姶良の
田園都市に、一番鳥が鳴く

田園都市に、一番鶏が鳴き、
子供達の喚声がこだまする。
それは夢ある明日
そして二十一世紀への豊かな創造

創造性に富んだ豊かな人づくり……38
学校教育／38　社会教育／42

姶良の観光……44
史跡／48　祭り／49　特産品／50　イラストマップ／51
姶良町町民歌／52

町民の生活……53

調和のとれたすばらしい未来……54
教育・福祉／54　産業・経済・都市基盤／56

30年のあゆみ……57

姶良町の沿革……58

30年の沿革……60

写真でみる30年……66
歴代町長・歴代助役・歴代収入役・歴代教育長／74
歴代議長・歴代副議長／75
町議会議員／76
農業委員・教育委員／77
漢字住民情報オンラインシステム・一部事務組合の概要／78
公共施設／79
あとがき／80

明るい明日へ、飛翔する姶良町

●町章

この町章は、昭和三十九年六月制定したもので姶良町の「アイラ」の宇を図案化したものです。

全体としては、躍進する大〝アイラ〟町を象徴し左右は、まさに飛びたとうとする若鳥の羽をひろげた姿を意図したものです。

●町木（やまざくら）

昭和53年1月制定

●町花（さざんか）

昭和53年1月制定

姶良町民憲章

私たちは、姶良町民であることに誇りをもち、みんなで住みよい文化の町をつくるために、進んで次のことを行ないます。

一、私たちは、きまりを守り
　明るい町をつくります。

一、私たちは、心を合わせ
　きれいな町をつくります。

一、私たちは、気をくばり
　健康な町をつくります。

一、私たちは、よく働き
　豊かな町をつくります。

一、私たちは、子供を守り
　教育の町をつくります。

1985

21世紀を担う子供達

二十一世紀は彼等の時代
知・徳・体の調和のとれた
人間性豊かで
国際的視野を備え
創造力と社会性に富んだ
心身ともに健康で
明るい人づくり
そして文化の町づくりを
めざします。

●昭和59年4月開校した西始良小学校の学生と町長